

# Refresh!!

No. 57

2020年07月31日発行

TAKE FREE

## 特集

子宮頸がんの予防  
HPV ワクチンについて





# 子宮頸がんの予防 HPVワクチンの接種について



子宮頸がんは、年間1万人の罹患者がいて、約二千八百人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年漸増傾向にあります。特に、他の年齢層に比較して20歳～40歳代の若い世代での罹患の増加が著しいものとなっています。

この度、先進国では主流となっている

子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)の9価ワクチンがようやく、日本で承認されました。HPVは100以上の型があり、今までは、子宮頸がんになりやすい16型、18型、尖圭コンジローマになりやすい6型、11型のワクチンしかなく、子宮頸がんを防ぐのは70%くらいと言われておりました。今回はさらに、癌になりやすい31、33、45、52、58の5つの型を含めた9つの型の感染の予防ができるようになり、子宮頸がんの90%を予防できるようになると言われております。さらに、HPV関連癌、外陰癌や咽頭癌等の発症率も減少しております。優先的な推奨年齢は、11歳～14歳、ワクチン接種できなかった15歳～45歳までの年齢の女性も推奨しています。HPVワクチンによる一次予防、子宮頸がん検診による二次予防が最も成功しているオーストラリアで28年には、子宮頸がんの患者はほぼなくなるとのシミュレー

ションがなされています。米国、英国、北欧でも前がん病変の発生が有意に低下しており、日本においても、秋田県、宮城県、松山市の研究で有意に少ないことが示されております。各国の接種率は、英国で86.0%、オーストラリアで73.1%、米国で40.0%、日本では0.6%です。

接種率の低い要因は、副反応が怖いと思われる方が多いと思われる。副反応について全国や名古屋で行われた調査では、ワクチンを接種してない方にも同様の症状がおこっていて、接種された方と差がないと報告(思春期に多い多様な症状と言われている)されており、HPVワクチン接種と関連がない)されております。また、症状がでたとされる方においても約90%が治癒されており、救済制度もあります。僕にもまだ、小さい娘がおりますが、HPVワクチンを接種させようと思っております。HPVワクチンが、皆様の健康の手助けになれば幸いです。



副院長兼  
産婦人科部長  
渡邊 之夫

## NEW COMER — 新任医師紹介

内科医師 中澤 陽子 (ナカザワ ヨウコ)



渡辺重行先生の外来を引き継ぐこととなり、中澤陽子と申します。

今年の4月から水戸協同病院へ異動となり、循環器が専門ですが高萩では6月下旬から週1日(金曜日)総合内科の外来を担当することとなりました。私自身は高萩市出身ですので少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

内科医師 服部 聡 (ハットリソウ)



7月から3ヵ月間お世話になります。患者さん、ご家族のお役に立てるよう頑張ります。よろしく

お願い致します。

内科医師 藤井 辰賢 (フジイタツヨシ)



水戸から来ました、医師3年目の藤井辰賢と申します。

7月から3ヵ月間勤務させていただきます。高萩の医療に貢献できるよう頑張ります。

色々足りないところがあると思いますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 高萩協同病院の施設紹介



## 「手術室のはなし」 Facilities

当院手術室は2階に位置しており、看護師10名で業務を行っています。手術室は全部で4室あり、外科・整形外科・産婦人科・脳神経外科・歯科口腔外科の手術を行っています。予定手術から夜間、休日の緊急手術まで対応できるよう24時間体制を整えています。2019年度手術実績は1,019件でした。

手術室では、術前・術後訪問を行い患者さんに安心・安全な看護が提供できるよう努めています。また、当院の理念である、良質で高度な医療が提供できるように、患者さん一人ひとりの声を大切にしながら、スタッフ全員が日々自己研鑽に努めています。

2019年度 手術件数	外科	整形外科	産婦人科	脳神経外科	歯科口腔外科
1,019件	238件	473件	246件	27件	35件

## Dept 「施設課のはなし」

## 高萩協同病院の部門紹介

皆さんにはなじみが薄いと思いますが施設課とは、文字通り施設整備を行う部門です。日々のルーチン業務・年間の定期業務の遂行が基本となりますが、院内全てに関わり、縁の下の力持ちとして非常に広い範囲の業務を受け持っています。実際には、病院内の各種設備の維持管理や、医療用の材料や備品・医療器機の購入管理等を行っています。病院を利用されている患者さん、また、病院職員にとって快適で安全な環境を提供する事に努めています。

私たちが、直接患者さんに関わることはまれですが、施設設備を整えることで医療を支えています。



## ●維持管理

- ・建物や電気など施設・設備の管理
- ・駐車場の管理
- ・敷地内の環境保持

## ●修繕作業

- ・車椅子やプリンター等の備品修理
- ・建物や電気など設備点検
- ・その他簡易的な修繕

## ●購入管理

- ・事務用品や日用品の購入
- ・医療用の材料や備品の購入
- ・大型の医療用器機の購入

## ●その他

- ・災害訓練 等

## ■ 在宅支援入院について

当院では、在宅療養を支える為に「地域包括ケア病棟」を開設しており、在宅支援入院の受け入れをしています。在宅療養で介護をされている家族を支援する目的で利用できます。例えば冠婚葬祭、介護者の病気・入院・出産・旅行など、一時的に介護を続けられない期間を、医療保険を利用して患者さんに入院期間を決めて入院していただきます。

### 在宅支援入院に関する注意事項

- ・退院後は、自宅に帰る方が対象です
- ・1回の入院期間はおおむね14日間です
- ・患者さんの状態により入院継続が困難な場合は、予定期間よりも短期間となる事があります
- ・在宅で介護をしている方の入院など、急な依頼でもできるだけ入院ができるよう調整します
- ・入院時は、原則お薬持参となります
- ・医療保険の適応になりますので健康保険証をご持参ください
- ・かかりつけ医（クリニック等）の紹介からも在宅支援入院ができます
- ・介護保険サービスをご利用の方はケアマネジャーさんにご相談ください
- ・抗がん剤の投与や緩和医療の継続も可能です
- ・入院中の他科受診は、原則できません



#### お問い合わせ先：

#### 患者サポートセンター 地域連携室

- 平日（月～金） 8：30～17：00
- 第1・第3土曜 8：30～12：30

- ・患者さん、ご家族等  
TEL：0293-23-1122（代）
- ・医療関係者の方  
TEL：0293-23-8525（直）  
FAX：0293-23-8506（直）

### 正面玄関の開錠時間及び検温等について

新型コロナウイルス感染予防や働き方改革による業務改善の一環として、当院では4月27日から正面玄関の開錠を8：00に変更いたしました。また、来院の方にはマスクの着用をお願いしており、入口での検温・手指アルコール消毒を実施しております。皆様には、ご理解とご協力をお願い致します。

### 面会制限について

7月1日より、面会制限を緩和しました。

- ・面会、荷物の引き渡し時間  
13：00～19：00
- ・面会できるのは、一人の患者さんに対し  
1日30分2名まで。

### 以下に該当する方は面会禁止

- ・37.5℃以上の熱・咳・鼻水・呼吸苦・味覚障害等の症状が一つでもある方
- ・新型コロナウイルス感染者との接触があった方
- ・北海道・東京・神奈川・埼玉に1ヶ月以内に往来歴のある方（医師等、病院から連絡のあった方を除く）



「あの時はお世話になったね」と声を掛けられ、看護師としても嬉し  
い限りです。  
今後とも看護の質の  
向上を図り、地域の  
皆様に信頼される病  
院づくりを目指して  
まいります。

## Takahagi Fresh News.

### 看護協会からの表彰

この度、茨城県看護協会会長、白川洋子様より優良看護職員として表彰状を授与されました、菅澤です。  
看護の道ひとすじで、あつという間に32年の月日が過ぎました。患者さんがお元気になり笑顔で退院されることが何よりの喜びです。今でも外来でお会いする患者さんから「あの

地元、高萩の不二家さんから差し入れをいただきました。“甘いものが大好き”と顔に書いてある人から配り、一瞬でなくなりました。みんなペコちゃんのように笑顔になりました。私たちはこの善意を医療と看護でお返しいたします。



発行所：県北医療センター高萩協同病院

発行人：近藤 匡

編集：広報ふれあい委員会

編集協力：協同メディカルサービス株式会社

〒318-0004 高萩市大字上手綱字上ヶ穂町 1006 番-9

Tel：0293-23-1122 takahagi-kyodo-hp.jp/